

KKRよしじま通信

2026
Vol.21
春号

地域と吉島病院を
結ぶ情報紙

わかば

発行日: 2026年5月1日
発行所: 吉島病院
発行人: 広報委員会



職員より投稿



巻頭特集

「在宅酸素療法サポート外来」開設

- 専門の立場から
- 病院の取り組み
- 連携医紹介コーナー
- 吉島病院TQM活動
- 医師の異動案内
- 吉島病院「よつばカフェ」ほか

「在宅酸素療法サポート外来」開設

呼吸器センター長・呼吸器内科医長 吉岡 宏治



「息苦さが少しでも軽くなって、より健康的な生活を過ごせるようになってほしい」という思いから、当院では医師、看護師、理学療法士、作業療法士、薬剤師、管理栄養士がチームとなり、呼吸器疾患の患者様に呼吸ケアを提供してきました。

その中には低酸素血症のため在宅酸素療法が必要となる患者様がおり、主に入院にて在宅酸素療法の導入や指導を行ってきました。

外来患者様にもこれまで当院で培ってきたリハビリ

や生活指導などの技術や知識を広く提供できればと考え、このたび新たな専門外来を開設することとしました。

この外来では、在宅酸素療法の適応の判断から新規の導入・指導、すでに在宅酸素療法を使用中の患者様に対して使い方の確認や酸素流量の再調整などプログラムを作成して行います。

在宅酸素療法を上手に活用して、より快適に日常生活を過ごせるよう、私達がサポートします。

プログラム
詳細

息苦しさを軽減し、より健康的な生活を

「いき サポートプログラム」

5ステップ サポートプログラムの流れ

【週1回通院・全5回コース / 1回あたりリハビリ40分+診察】

STEP.1 現状を知る	「動ける力」を数値化します。6分間歩行試験や身体組成測定を行い、現在の体力と最適な酸素流量をチェックします。
STEP.2 生活を見直す	環境と導線の最適化。ご自宅での酸素機器の配置や使用状況を確認し、生活しやすくするためのアドバイスを行います。
STEP.3 コツを掴む	息切れしない「省エネ動作」、入浴や着替えなど、息苦しくなりやすい動作について、呼吸を楽にする具体的な方法を習得します。
STEP.4 自信をつける	動いても大丈夫、を実感。実際に体を動かしながら酸素の変化を確認。栄養士による「苦しくない食事」の提案も行います。
STEP.5 未来へ	卒業、そして次の目標へ。5回の成果を最終評価。かかりつけ医に報告書を送り、地域全体であなたの生活を見守ります。

こんなお悩みありませんか？

「もう一度、旅行に行きたい」などの目標がある

坂道や階段での息切れが強く、外出が怖い

酸素機器を使っているが、本当に効果が出ているか不安

入浴や着替えの時、どう呼吸すれば楽か知りたい

家族に負担をかけたくないので、自分でできることを増やしたい

プログラムの特長

オーダーメイドの目標設定

患者様主導で、あなたの「やりたいこと」を目標にします。

多職種チーム連携

医師・看護師・理学療法士・作業療法士・管理栄養士が連携し、生活を多角的に支えます。

全5回・短期間で習得

週1回の外来通院で完結。入院の必要はありません（希望により入院も可能です）。

かかりつけ医と共有

当院での指導内容は、紹介元のかかりつけ医に詳細にご報告します。



リハビリの様子



リハビリの様子



サポートスタッフ

ご紹介に関するお問い合わせは「地域医療連携室」まで

週1回投与の持効型インスリン製剤 (アウイクリ)について

糖尿病・内分泌内科医長 坂下 有



糖尿病の治療薬は、大きく経口血糖降下薬と注射製剤の2つに分かれます。経口血糖降下薬も注射製剤も日々進化しており、次々と新しい薬剤が登場しています。2025年1月に世界初の週1回投与の基礎インスリン製剤「アウイクリ」(インスリンイコデグ)が発売されました。それまではインスリンは毎日打つのが当たり前でしたが、この薬剤の登場で、週1回のインスリン注射が可能になりました。1回の投与量は1日1回のインスリンの約7倍になります。1メモリが10単位ですので、空打ちは10単位必要です。

インスリンの適応はあるけど、高齢者で認知機能が低下していたり、視力低下などにより自己注射が困難になった患者さんでも、週1回であればインスリン注射が可能というケースが多々あります。例えば、訪問看護師・ご家族が、毎日のインスリン注射は無理だけど、週1回であれば対応できるというケースです。週1回であれば、別居のご家族でも対応できるかもしれません。様々な事情でインスリン注射をあきらめていた患者さんに対して、糖尿病治療の選択肢は大きく広がりました。一方で、本薬剤は定常状態に達するまでに3~4週間を要すると言われています。よって基礎インスリンから切り替える場合、初回投与のみ1.5倍を投与することが推奨されています。また短期間での効果判定や頻回に単位を変更することは基本的にはしないほうがいいです。さらに作用が長期間持続するため、過量投与時に低血糖のリスクが高まります。

当院での1例ですが、やはりご高齢のためインスリン自己注射

が困難になった患者さんに対して訪問看護師が注射をしています。50単位/週の投与ですが、HbA1cはかなり低下しています。低血糖に留意しながら今後も継続する予定です。注射回数が減ることで、ご本人だけでなく介助者の負担を軽減させることができている。

週1回の注射には、インスリンの他、GLP-1受容体作動薬・GIP/GLP-1受容体作動薬があります。これらは比較的若くて肥満傾向の患者さんにはとてもよい適応になりますが、元々やせ型の高齢者にとっては、食欲低下や体重減少をきたし、フレイルのリスクを増加させる可能性があります。そのためGLP-1受容体作動薬・GIP/GLP-1受容体作動薬はやせ型の高齢者には適応にならないことがほとんどです。

「アウイクリ」(インスリンイコデグ)は、発売から1年以上経過しておりますので長期処方が可能です。ほとんどの場合は確実に血糖値を低下させますし、インスリン治療の簡便性もあるため、今後適応になる患者さんが増えていくと考えています。



連携医紹介コーナー

日々各分野の診療で活躍されており、また吉島病院とも連携されている先生方にご登場いただき、病院の紹介をしていただくコーナーです。

津谷内科呼吸器科クリニック

理事長名：津谷 隆史
住 所：広島市東区牛田早稲田1-6-3
T E L：082-221-5463
診療科目：内科・呼吸器科

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前診療	○	○	○	○	○	○
午後診療	○	○	○	○	○	×

※午前/9時~12時、午後/15時~18時
※休診日/日曜日・祝日
※終夜睡眠ポリグラフ検査 (PSG) 水・金 (20:00~)

自己紹介をお願いします…昭和55年に昭和大学を卒業後、広島大学にて内科研修を行い、同大学第二内科に入局しました。大学院では4年間、第二病理学教室にて研究に従事しました。その後、第二内科、中国労災病院、およびカロリンスカ研究所(スウェーデン)に勤務、研修し、平成12年に父の医院を継承しました。

貴院の紹介をお願いします…地域医療に根ざした内科・呼吸器診療を基本とし、地域のかかりつけ医として継続的な診療を行っています。平成18年より中村賢二院長(広島大学昭和63年卒)とともにPSG検査体制を充実させ、睡眠時無呼吸症候群の診断およびCPAP療法による管理にも対応しています。また、在宅診療や禁煙治療・禁煙支援にも積極的に取り組んでいます。

患者さんもしくは当院に対して一言…呼吸器疾患の患者が多いこともあり、吉島病院には日頃より大変お世話になっています。対応も迅速で、在宅における治療方針についても丁寧にご指導いただき、大変助かっています。今後ともよろしくお願いします。



オープンカンファレンスの再開について

当院では、初代院長 結城庸先生の発案で昭和62年1月からオープンカンファレンスを行っておりましたが、コロナ禍の影響で 令和2年2月の第357回を最後として、一時お休みをいただいております。令和7年2月には、パイロット的に、主に院内向けとして、当院で力を入れている疾患の一つである非結核性抗酸菌症の勉強会をウェブで行いました。

接続なども問題ないことがわかったために、令和7年10月30日に、5年半ぶりに、オープンカンファレンスを第358回として、再開しました。現地とウェブを併用して、当院でのがん診療に関して、呼吸器内科から三好先生、呼吸器外科から石田先生、消化器内科からは松田先生、消化器外科から迫川先生に話してもらいました。

久しぶりに院内にお越しいただいた先生方、ありがとうございました。コロナ前とは違った形での再開となりますが、吉島病院ならびに、吉島病院オープン

カンファレンスに対して、今後も引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

診療部長 池上 靖彦



2025年度吉島病院TQM活動

当院では毎年各部署でTQM活動に取り組み、その結果を発表しております。TQMとはTotal Quality Management の頭文字をとったもので、病院全体で医療やサービスの質を継続的に向上させる取り組みであり、今年度は看護部・診療部・訪問看護ステーション・健康管理センター、患者支援センターの合計11部署が日頃の業務の中で見つけた課題を分析し

取り組んだ改善活動の報告を行いました。今年度より評価システムを刷新し、職員による投票を取り入れて高評価となった4チームが入賞し、表彰を行いました。

今後も患者さんにより良いサービスを提供できるよう、病院全体で活動に取り組んでまいります。

【発表の演題・テーマ】

受賞	部署名	サークル名	テーマ名
	外来	なんか忙しい外来対策本部	外来看護師の業務内容を見直し、外来業務の効率UP!
推進メンバー賞	放射線科	クッション インボシブル	ポータブル撮影時の患者さんの苦痛を減らしたい
優秀賞	訪問看護ステーションわかば	やさしプロジェクト365	訪問看護ステーションわかばにおける待機勤務の負担軽減と収益UP
	リハビリテーション科	24時間SpO2測定件数をふやしたい	24時間SpO2モニター測定の適正化と実施体制の見直し
優秀賞	1病棟	Fusion!	結核看護・手術看護・内視鏡看護の連携における業務改善とスキルアップ
	3病棟	補完強化し日2帰し隊	セル看護マニュアル整備し業務の効率化に繋げる
	2病棟	団結力 国宝級 チーム	医療療養病床と地域包括ケア病床 二刀流でイイジャン!
	4病棟	エッホ エッホ エッホ エッホ 4病棟は待たせないって伝えなきゃ エッホ エッホ エッホ	タイムリーなナースコール対応の実現～効率的なセル看護の見直し～
	患者支援センター	レスパイト入院患者数を増やし隊	レスパイト入院増加に向けた取り組み
優秀賞★職員賞	健康管理センター	受診者の健康意識を高めたい	フォローアップ体制を見直し、精検受診率・治療受診率を上げる
	臨床検査科	収支実態把握し隊	生化学・免疫部門のまるめ比率低減につながる仕組みづくり



医師の異動のご案内

令和8年3月31日退職

柴田 沙矢加(眼科)
井上 亜沙美(呼吸器内科)
石田 聖幸(呼吸器外科)

令和8年4月1日採用

馬場 脩(眼科)
古月 七海(呼吸器内科)

広島市一般介護予防事業 認知症カフェ 「よつばカフェ」

認知症予防・介護予防

開催日：毎月 第3金曜日 13:00～16:00

場所：吉島病院健康管理棟2F講義室

参加費：300円/回(いきいきポイント 1ポイント付与)

対象者：どなたでも

「みんなの保健室」を開設しています **無料**
13:00～16:00

健康測定
血圧/酸素飽和度/身長・体重/体組成測定(筋肉量評価・体脂肪評価・水分量・推定骨量・基礎代謝量など)

相談
医療/介護/福祉/認知症相談



2026年4月～9月予定表(申込不要・途中出入り自由)

4月17日(金)	認知症について 認知症看護認定看護師 陶山祥子	
	65歳からの健康教室ストレッチとフェイスヨガ ラジオ体操指導士 柳原享子	
5月15日(金)	薬について 薬剤師 喜多智生	
	おうちでできる簡単体操 吉島病院理学療法士 上満咲	
5月29日(金)	地域研修会 山岡直樹	
6月11日(金)	介護者・家族の交流会 (参加費500円)	
6月19日(金)	かかりやすい感染症と感染予防 感染管理認定看護師 福原美輪子	
	シニア椅子ダンス ダンス指導員 鈴木あつ子	
7月17日(金)	漫談入ステージマジック 勢万一夫	
	介護・医療・福祉のお話 医療ソーシャルワーカー 中川歩香	
8月21日(金)	「認知症かな?」と思ったら 認知症地域支援推進員 木元鮎美	
	紙芝居上演 ひろしま紙芝居村	
9月11日(金)	私のこころづもり(意思決定支援) にじの花在宅センター(45分) 森山薫	
	落語 アマチュア落語家 紺やとんとん	
	お笑い一人芸 眞田決(またきます)	

4月から参加費が
300円/回となります。
ご了承ください。

※予定を変更する場合がありますのでご了承ください

お知らせ

今回は8～9月頃に「夏・秋合併号」を発行予定です。

外来診療担当表

		月	火	水	木	金	第1土	第3土	
午前	呼吸器センター 呼吸器内科	吉岡 尾下 古月	池上 三好	山岡 吉岡	尾下 古月	池上 三好	尾下 池上	山岡 吉岡	
	内科	山岡 長野(広大)	岸川 坂下	梶原 坂下	沼尾 石橋(広大)	坂下 松田	松田 坂下	梶原 沼尾	
	呼吸器センター 呼吸器外科	宮原		奥道	宮原	宮原			
	外科	迫川		手術		迫川			
	整形外科	(広大) 下垣	下垣	下垣	原田(広大) 下垣	下垣			
	眼科	奥道 馬場	奥道 馬場	奥道 馬場		奥道 馬場	奥道	馬場	
	専門外来	もの忘れ(第1・3週) 三森	(NTM外来) 尾下						
	午後	呼吸器センター 呼吸器外科		手術	手術				
		整形外科	手術			手術			
		眼科	手術	検査	手術	手術	検査		
耳鼻科			○		○				
各種 専門 教室 外来		予約外来 梶原 坂下	NTM外来 尾下	HOTサポーター外来 吉岡	予約外来 梶原	呼吸不全外来 担当医			
		認知症ケア 総診	放射線治療外来 今野 (第2・4週) 糖尿病教室 坂下		アスベスト外来 禁煙外来 川根 (第2・4週)	(NTM外来) 古月			

☆お知らせ
担当医、診療日
の変更があります。

〈呼吸器内科〉
井上医師
⇒古月医師

〈眼科〉
柴田医師
⇒馬場医師

〈内分泌代謝科〉
木曜日
木村医師
⇒石橋医師

〈もの忘れ外来〉
第1・3木曜日
第1・3土曜日
松原医師
⇒三森医師

※第1・3土曜日は診療しております。
予約については、TEL(082)241-2167

外来診療のご案内

診療科目

内科／呼吸器内科／消化器内科／内視鏡内科
糖尿病・内分泌内科／循環器内科
外科／呼吸器外科／消化器外科／内視鏡外科
眼科／耳鼻咽喉科／麻酔科／放射線科／整形外科
リハビリテーション科／緩和ケア内科
呼吸器リハビリテーション科

診療時間

内科：月～土 8:30～12:00
外科：月～金 9:00～12:00 火・土 休診
整形外科：月～金 9:00～12:00 土 休診
眼科：月・水・金・土 8:30～12:00 火・木 9:00～12:00
耳鼻咽喉科：火・木 14:00～17:00
禁煙外来：第2・4木 13:30～16:30
アスベスト外来：第2・4木 14:00～16:30
もの忘れ外来：第1・3月 9:00～12:00
セカンドオピニオン外来：地域医療連携室へお問い合わせください。
フットケア外来：火 10:00～12:00
緩和ケア内科：月 11:40～12:00
放射線治療外来：第2・4火 15:00～17:00 ※不定期
コロナ後遺症外来：火～木 13:30～15:30 ※予約制

受付時間

内科：8:30～12:00／土曜日 8:30～11:00
外科・整形外科・眼科：8:30～11:00
耳鼻咽喉科：13:30～16:00

休診日

第2・4・5土曜日／日曜日／祝祭日
年末年始(12月29日～1月3日)／開院記念日(3月7日)
※ただし、休日・夜間における急患の診療については上記の限りでは
ありません。お電話の上、ご相談ください。

当院では予約のない初診の方も通常の診療をしております。整形外科・眼科につきましては予約を原則としており、予約がない場合は待ち時間が長くなることがあります。

交通アクセス情報



- 広島バス24号線
「吉島営業所行き」…吉島病院入り口下車、徒歩5分
「吉島病院行き」…終点・吉島病院下車
※吉島方面行き 広島バス24号線は、2種類ありますのでご注意ください。
- 東西線バス…吉島東下車、徒歩10分

【院内MAP】

※駐車場完備



Facebookもチェック!

【国家公務員共済組合連合会 吉島病院】@kkryoshijimako



【吉島病院の理念】

- ◆診断と治療が確実で、早く、安全なこと。
- ◆病気の予防や健康増進にも積極的に取り組むこと。
- ◆患者さんが喜び、地域が喜び、職員も生き甲斐を持って働ける病院であること。



吉島病院長
山岡 直樹

国家公務員共済組合連合会

よし じま
吉島病院

〒730-0822 広島市中区吉島東3丁目2番33号
TEL: (082) 241-2167 (代) FAX: (082) 249-4635
URL : yoshijima-hosp.kkr.or.jp